

平成 18 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 本 間 良 輔  
(コード番号 4321 東証1部)  
問 い 合 っ せ 先 取締役兼執行役員CFO 吉 川 泰 司  
電 話 番 号 (03) 3519-2530

## 平成 17 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 8 月 11 日の中間決算発表時に公表した平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 通期の業績予想の修正（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

#### (1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 ( A )	12,300	6,800	4,000
今 回 修 正 ( B )	13,950	8,110	4,750
増 減 額 ( B - A )	1,650	1,310	750
増 減 率 ( % )	13.4	19.3	18.8

ご参考：前期の実績（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績 ( A )	6,052	2,733	1,633
-----------------	-------	-------	-------

#### (2) 単体

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 ( A )	8,200	5,600	3,600
今 回 修 正 ( B )	10,010	7,120	4,570
増 減 額 ( B - A )	1,810	1,520	970
増 減 率 ( % )	22.1	27.1	26.9

ご参考：前期の実績（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

前 期 の 実 績 ( A )	4,280	1,907	1,137
-----------------	-------	-------	-------

## 2. 修正の理由

当期においても物件取得が順調に進み、平成 17 年 12 月末のアセットマネジメント受託残高は開発案件を除き 3,856 億円に達しました。この結果、不動産ファンドからの物件取得に係るアキュジションフィー及び物件保有期間中のアセットマネジメントフィーが予想を上回る見込みとなりました。

一方、ファンドの物件売却も好調であり、アセットマネジメント事業及び債権投資マネジメント事業の両事業において、成功報酬であるインセンティブフィーが大幅に増加する見込みとなった他、開発案件を中心とする自己勘定投資物件の売却益が予想を上回る見込みとなりました。

また、当社の 100%子会社であるケネディクス・リート・マネジメント(株)が運用するケネディクス不動産投資法人の上場後の物件取得も順調であり、平成 17 年 12 月末現在、33 物件、約 769 億円の資産残高に達しております。これにより、各種フィー収入をはじめとする当社グループへの利益貢献が予想を上回る見込みとなりました。

上記の結果、連結及び単体ともに、通期の営業収益、経常利益及び当期純利益が予想を上回る見込みとなったため、通期の業績予想を修正することといたしました。

以 上